

～うきはの“地の利”、“人の利”、“時の利”を伝える～

「うきはブランド通信」

U B C ~ukiha brand communication~



平成30年4月19日
福岡県うきは市



(報道各社への取材の御案内)

小学校の“学校茶園”で、伝統の“茶摘み行事”

校庭に約7畝の茶畑がある山春小学校では、100年ほど続く茶摘み行事が八十八夜ごろに行われている。摘み取った茶葉は市内の工場で製茶し学校で使用される。

年間通じての茶畑の維持管理は茶農家・河北幸高さん(検索楠森堂)など地元関係者の協力のもと児童たちも行ってきたので、喜びの収穫となる。

また、摘みたての茶の新芽をその場で揚げたお茶のテンプラも試食する。

うきは市では茶の栽培の振興を図るため平成26年4月に全国初となる「お開きは、うきはの茶で乾杯条例」が施行され、収穫作業後に“お茶で乾杯”も行う。

■日時 4月25日(水) 午前8時30分から(2時間程度) ※雨天延期=4月27日(金)

■場所 うきは市立山春小学校校庭の茶畑(うきは市浮羽町山北783-6)

●問い合わせ 山春小学校 TEL0943-77-2267(取材にお越しの際は、事前にお知らせください)



▲ 昨年、児童による茶摘み作業の様子(写真奥の建物が校舎)

編集・送信:うきは市総務課広報係(Tel0943-75-4980)

※FAXを手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 うきはブランド通信

2018.4.19 発表/小学校の“学校茶園”で、伝統の“茶摘み行事”